

視聴覚教育

NO 125

発行日 9月9日

発行 岡崎市AVL

編集 岡崎市AVL

編集 岡崎市AVL

広報委員会

校内放送講座講習会に

田心よう

視聴覚教育部長 山田 利一

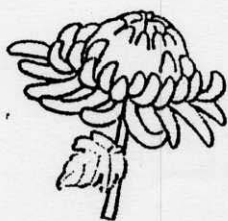
今年の校内放送講習会は、八月四日、百七十余名の参加者を得て美川中学校で開催された。講師は、加藤明康氏である氏は、CBCアナウンサー第一期生として入社。街頭録音「青空会議」、テレビ「ポーラ婦人ニュース」などを担当される。その後、放送・報道・アナウンスの各部長、テレビ局アナウンス局長など要職を歴任され今年七月に退任された。基礎からたたきあげた根っからのアナウンサーである。

雨天で膚寒い日であったが、熱気に溢れまことに充実した三時間であった。講師のお世辞もおだてもない鋭い指摘と明解な指導に、今更ながら日常の我々のことばづかいがいろいろ加減であるかを、痛感させられたものである。特に「アクセント」と「間」の問題は、今後の大きな課題として残された。

数年前、あるベテランの女性アナウンサーと話したことがある。会話がとてもスムーズで快いのである。その場に応じた声量と、一語一語を大切に明確に発音する話し方。そして、実にうまいのが「間」のとり方である。初対面の者でも気萎れしない、充分考え話す余裕を与えてくれたのである。

加藤明康氏は、著書「しあわせな日本語」の中で「書きことば」は教育も行き届いて研究されているが「話しことば」は野放しの状態である。最近では会話のテンポが速くなり、ことばのニュアンスが失われている。今では、ラジオ・テレビのアナウンサーまでもそれに迎合して早口になっている。これは、ボキャブラリーの不足と、自らのことばの貧しさ故である。放送人は、日本語の美しさを伝承し支えていく義務と責任があることを鋭くついている。

子供達のことばづかいが悪くなった。日常の会話は早口で怒鳴るような話し方である。特に女子のことばが乱暴になった。悪いことばの中では心も荒んでくる。今の世相の反映であろうか。また、我々教師も正しい日本語で、子供達に接しているかどうか思いを至さなければならぬ。



VTR講習会に参加して

明大寺町 近藤 輝子

「お母さん、お友達の家には、みんなビデオがあるのに、どうしてわたしの家は買わないの」。つい先ごろ娘からこんな言葉を浴びせられました。ホームビデオが普及した今、主婦といえども「機械は苦手、メカには弱い」とばかり言ってもいられなくなりました。折りしもこのような実技講習会が開かれるとのことで、早速仲間に入れていただきました。

私たち社教班は真夏の太陽のもと岡崎公園へ録画撮りに出かけ、講師の先生からその場に応じた実地指導を受けました。老人会の会長をしてみえるNさんは、ゲートボール試合や演芸会にと、若いお母さんは子ども会活動にと、それぞれの目的を頭に描き真剣にカメラを操作しました。二日間の研修で「岡崎公園めぐり」のビデオが完成し、試写会の折りには班員全員で喜びを分かちあったのです。テレビで垣間見るスポーツ映像も、このように手間をかけた後にでき上がるのが分かりました。今、私は自分自身のオリジナルビデオを作る楽しさも分かりかけたところです。



ライブラリーだより

自作TPP作品を募集！

市内小中学校に勤務する先生で、自作されたTPP作品を募集しています。数多くの参加をお願いします。

△規定▽ ① 一時間または一单元用で教科領域は自由

② 一人一作品で、TPP枚数は制限なし

③ 未発表の創作で、作成方法は自由

△その他▽ 作品は厚手封筒に入れ応募個票の一枚を表に貼付、TPPの枚数を明記して下さい。またTPP一枚ごとに校名・氏名を記入して応募個票十枚とともに同封して下さい。

△応募先▽ 岡崎市視聴覚ライブラリー（太陽の城1F）
十月二五日（土）必着、問い合わせTEL 2513000

お 知 ら せ
おもな新しい備口即紹介
*パソコン 富士通16βFDIIを設置
*モニターテレビ 27インチ一台（貸出用）

二学期の教材配達
サービスは9月9日
から開始します！！

